

G R I Pキッズ両国校 放課後等デイサービス自己評価表【事業者向け】

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	1	3	1	パーティー等で静と動の遊びを分けているが、利用する人数や遊び方によっては狭いと思われる。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	2	いつでも教室に2人以上で見られると良い。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	残念ながらトイレが狭く、バリアフリー化は難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	1	アルバイト・パートの皆さんの意識がとて高く、積極的に社員へ伝え、実行して下さる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3		アンケートは良く書いてくださっていると思うので、実際にはもっと厳しく捉えて、改善につなげるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2	1	ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	高額な費用の問題もあり、今のところ行うことができていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	4		コロナ禍なので、録画素材による研修等行っている。随時必要に応じて、児童の特性による対応の仕方を話し合い、伝えている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	3		コロナがおさまっている時期にできるだけ面談など行っているが、なかなか行えず、難しい状況にある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4		ご利用者様の傾向に合わせて、より良いものに変えていきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	4		会社に豊富なプログラムがあり、児童の成長や状況等に応じ適切に選び、事前に伝え、検討している。また、オリジナルのプログラムも個々の職員の発案にはなるが、実際に行うまでに協力してブラッシュアップしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	1	鉛筆やクレヨンを持って学習できない子どもへの支援の仕方について、私自身工夫が必要である。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3		平日と休日では必ずとできる課題が違ってくる。土曜や祝日、長期休暇の方が長い時間滞在できるため、より一人ひとりに合わせた内容を提供する時間も作ることができる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2	1	個別活動はもちろんのことながら、集団活動も重視している。児童同士の関わり合いでしか獲得できないスキルがある。組み合わせることが非常に大切。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		学校がある日については必ず、打ち合わせを行うことができています。学校休業日については、必要時に行っている。時間がある時は直接、時間がない時は引継ぎノートやメールにて共有し合っている。連絡帳で確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	退勤時間が一人ひとり違うため、集まって行うことはできないが、気になる点は必ず毎日あり、口頭やメモなど各々工夫しながら必ず伝えあっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3		支援の検証や改善には、連絡帳などの記録を必ず確認し、活かしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2	1	モニタリングの時期を表にまとめ、話し合いの機会を持つようになっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	1	3	1	ガイドラインは常に読み返しており、支援に活かしている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3		児発管と共に、役職に関係なく最も精通した者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		直接、場合によっては保護者を通じて、随時情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		該当児童無し。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5		コロナの影響もあり、現状は積極的に行えてはいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	1	学校卒業後に障害福祉サービス事業所へ移行する年代がまだいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1	事例によっては抱え込むことはせず随時、相談支援専門員等を通して、児童発達支援センターや発達障害者支援センター等、様々な機関と連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	ほぼ100%の児童が、普段学校で交流していることもあり、プライバシーの問題もあることから、放課後等デイサービスとして交流することは控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	1	協議会を見つけることができていない。 コロナが収束したら、積極的に外へ出て行きたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		各家庭からの連絡、相談などは連絡帳や送迎時に個人情報に注意しながら助言や支援を行っている。 (短時間なので、どれくらい伝わっているか不安ではあるが…) 送迎時に必ず1つ、2つのその日のことや課題について話し、コミュニケーションをとっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4		必要時に個別に行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		契約時に1時間以内におさまるよう気をつけながら、できるだけ詳しくご説明している。契約後も、曖昧な点が無いよう必要時にできるだけお知らせし、問い合わせにもわかりやすく伝えるよう気をつけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		連絡帳や送迎時、必要時に面談や電話等により、随時行っている。 偏り無く連絡を取ることが、課題と感じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4	コロナの現在難しいと思うが、あっても良いと思う。 コロナが収束したら、希望者を対象に支援したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		体制は整備されており、契約時にお伝えしている。苦情があった場合にも迅速かつ適切に対応する体制を整えているが、苦情らしい苦情を今のところはいただいてない。 苦情が無い中にも、本当は言いたいことがあるものと考え、できる限りご意見を吸い上げられるよう努めたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3		公式のTwitterにより、週に1回活動状況等を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4		1	個人情報には十分に注意しているが、更に改善できる点があると考えている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	2		子どもの特性を見てくり返し話をしたりしている。 送迎時等、普段のやり取りを重視している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3		コロナ後に様々なことを一緒に行いたい。 地元へ根差したスタッフもいる為、コロナで行えていないことを非常に残念に思っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		マニュアルは一通り策定してあるが、保護者への周知が十分とは言えないため、改善したい。 集団プログラムの中に避難訓練が位置付けられている。 最近地震が多いので、もっと多く行えば良いと思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		消防署員に来ていただき、救命訓練や消火訓練等行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		Gripキッズ作成の研修動画を見ていただき、簡単なレポートを出していただいている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		5		基本的に身体拘束を行うような状況が無い。しかし、何が身体拘束に該当するかを周知し、児童がそのような心理状態にならないよう事前に対策している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	医師の指示書が必要な児童がない。 個人調査表に項目が設けられている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2		以前よりもヒヤリハットに対する意識が高くなっている。 メールでも連絡が入るので、目を通すようにしている。	